

第4回ホストタウン首長会議
議事要旨

日 時：令和元年11月13日（水）17：40～18：30

場 所：官邸2階大ホール

出席者：

東京オリンピック・パラリンピック担当大臣

内閣官房副長官（参）

内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局長

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

ゼネラル・コーディネーション・オフィサー

内閣官房副長官補付内閣審議官

内閣官房副長官補付内閣審議官

内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局企画・推進統括官

内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局総括調整統括官

内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局企画・推進統括官

内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局企画・推進統括官

内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局セキュリティ推進統括官

内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局企画・推進統括官

内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局企画・推進統括官

内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局次長

内閣府大臣官房政府広報室長

内閣府地方創生推進室次長

警察庁長官官房審議官（東京オリンピック・パラリンピック担当）

復興庁統括官付参事官〔代理出席〕

総務省大臣官房地域力創造審議官

外務省東京オリンピック・パラリンピック要人接遇事務局長〔代理出席〕

スポーツ庁オリンピック・パラリンピック課長〔代理出席〕

文化庁次長

厚生労働省政策統括官（総合政策担当）

農林水産省農村振興局農村政策部長〔代理出席〕

経済産業省大臣官房大臣官房商務・サービス審議官

国土交通省総合政策局長

観光庁国際観光部長〔代理出席〕

環境省総合環境政策統括官

全国知事会事務総長

全国市長会事務総長

全国町村会事務総長

日本郵便株式会社執行役員副社長

橋本 聖子（はしもと せいこ）

岡田 直樹（おかだ なおき）

平田 竹男（ひらた たけお）

小山 哲司（こやま てつし）

松田 浩樹（まつだ ひろき）

濱野 幸一（はまの こういち）

勝野 美江（かつの みえ）

藤原 章夫（ふじわら あきお）

河村 直樹（かわむら なおき）

諸戸 修二（もろと しゅうじ）

山本 仁（やまもと まさし）

伊吹 英明（いぶき ひであき）

鶴田 浩久（つるた ひろひさ）

田口 康（たぐち やすし）

田中 愛智朗（たなか あいちろう）

牛島 授公（うじま さずきみ）

楠 芳伸（くすのき よしのぶ）

中尾 学（なかお まなぶ）

境 勉（さかい つとむ）

齊藤 純（さいとう じゅん）

勝又 正秀（かつまた まさひで）

中岡 司（なかおか つかさ）

伊原 和人（いはら かずひと）

村井 正親（むらい まさちか）

藤木 俊光（ふじき としみつ）

蒲生 篤実（がもう あつみ）

高科 淳（たかしな じゅん）

中井 徳太郎（なかい とくたろう）

古尾谷 光男（ふるおや みつお）

荒木 慶司（あらかい けいじ）

武井 丈二（たけい たけじ）

大澤 誠（おおさわ まこと）

出席自治体：

釧路市

三沢市【代理】

名寄市

西目屋村

根室市

盛岡市

滝川市

宮古市

大船渡市	花巻市	久慈市	遠野市
陸前高田市【代理】	釜石市	二戸市	八幡平市
紫波町	西和賀町	一戸町	気仙沼市
白石市	名取市	岩沼市	登米市【代理】
東松島市	蔵王町【代理】	柴田町【代理】	大潟村【代理】
美郷町	山形市【代理】	酒田市【代理】	新庄市
寒河江市【代理】	長井市	東根市	白鷹町
福島市	いわき市【代理】	二本松市	本宮市【代理】
川俣町	大玉村【代理】	南会津町	北塩原村
猪苗代町	広野町	飯舘村	茨城県【代理】
結城市	笠間市	守谷市	常陸大宮市【代理】
桜川市	神栖市【代理】	行方市	境町
栃木県【代理】	栃木市	那須塩原市【代理】	太田市【代理】
沼田市	渋川市	富岡市	みどり市【代理】
上野村【代理】	甘楽町【代理】	埼玉県【代理】	さいたま市【代理】
川越市	加須市【代理】	東松山市【代理】	上尾市
草加市	新座市	富士見市	三郷市
幸手市	伊奈町	三芳町	船橋市【代理】
松戸市【代理】	佐倉市【代理】	印西市【代理】	山武市
文京区【代理】	江戸川区【代理】	立川市	青梅市【代理】
調布市【代理】	日野市【代理】	東村山市【代理】	武蔵村山市
羽村市	神奈川県【代理】	横浜市【代理】	川崎市【代理】
相模原市【代理】	横須賀市【代理】	鎌倉市【代理】	小田原市【代理】
厚木市【代理】	葉山町	箱根町【代理】	新潟県【代理】
新潟市	小千谷市	十日町市【代理】	燕市
上越市【代理】	高岡市	石川県【代理】	小松市【代理】
穴水町	敦賀市	北杜市【代理】	山中湖村
佐久市【代理】	千曲市【代理】	安曇野市【代理】	松川町
岐阜県【代理】	岐阜市	中津川市	羽島市
恵那市	郡上市	八百津町	浜松市【代理】
三島市【代理】	焼津市【代理】	下田市	豊橋市【代理】
刈谷市【代理】	稲沢市	幸田町	四日市市
志摩市	彦根氏	亀岡氏	京丹後市
池田市	貝塚市【代理】	守口市	大東市
和泉市	明石市【代理】	西脇市	三木市
奈良市	田原本町	鳥取県【代理】	益田市
邑南町	岡山市【代理】	赤磐市【代理】	真庭市
美作市【代理】	三次市	山口県【代理】	宇部市
萩市	徳島県【代理】	香川県【代理】	丸亀市
愛媛県【代理】	新居浜市【代理】	福岡県【代理】	北九州市【代理】
田川市	福津市	みやこ町	築上町
佐賀県【代理】	嬉野市	熊本県【代理】	八代市【代理】
玉名市	大分市	中津市【代理】	宮崎市【代理】
都城市	延岡市【代理】	日向市	和泊町【代理】

1. 挨拶

○橋本東京オリンピック・パラリンピック担当大臣

- ・本日は「ホストタウン首長会議」に多くの市区町村長の皆様にお集まりいただき、感謝申し上げます。
- ・先月の台風および豪雨により、多大な被害があった。被災された皆様に心からのお見舞いを申し上げます。
- ・先日閉幕したラグビーワールドカップでは、日本全国で参加国を応援しようという機運が盛り上がった。来年の東京大会では、さらに多くの選手や観客が世界中から日本に集まることになるため、この経験を生かしていただきたいと思う。
- ・先日、福岡県飯塚市で開催された「共生社会ホストタウンサミット」、また福島県で開催された「復興ありがとうホストタウンサミット」に出席させていただいた。「復興ありがとうホストタウンサミット」では、現地の子どもたちが目隠しをしてブラインドサッカー競技を体験したが、困難なことに立ち向かっていくことを経験し、自らを切り開いていく力が湧いてきたのではないかと感じる。
- ・ホストタウンの取組は今回の東京大会が史上初めてであり、レガシーを作り上げていく大きな力になると感じている。ホストタウンの登録も、自治体の皆さんに積極的に手を挙げていただき、登録件数で392件、自体数464、相手国・地域数は156となっており、復興ありがとうホストタウン、共生社会ホストタウンも順調に増加している。
- ・各ホストタウンオリジナル切手も続々と生まれている。ぜひ、皆様自身のレガシーを見つけ、磨き、成熟させてほしい。
- ・さらに大会を越えた末永い交流についても思いを巡らせていただきたいと思う。ホストタウンに登録されたきっかけが様々であるように、ホストタウンの数だけレガシーも存在する。
- ・本日お集まりいただいている自治体の皆さんには、それぞれの自治体で連携強化を図りながら、より素晴らしい取り組みを作り上げていくチャンスとしていただきたい。その中で多様性を見出しながら、末永い取り組みをレガシーとして築いていけるよう、一層のご支援・ご協力をお願いし、冒頭の挨拶とさせていただきます。

○岡田内閣官房副長官

- ・皆様におかれては、ご多忙のなかお集まりいただき、東京オリンピック・パラリンピック大会に向けて、日頃からご協力いただいております。感謝申し上げます。
- ・ご存じの通り、台風19号やその後の豪雨によって、東日本を中心に多くの方が被害にあった。被災された皆様にお見舞いを申し上げますとともに、1日でも早い復興をお祈りする。
- ・先日開催されたラグビーワールドカップでは、日本中が大いに熱狂し、各国のチームの結束を見て感動があふれた。
- ・ラグビーワールドカップが閉幕し、いよいよ東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて、本格的に動き出していく。東京大会は日本全国民がワンチームになる素晴らしい機会である。
- ・来年の東京オリンピック・パラリンピック大会に参加するため、あるいは大会を観戦するために、多くの皆様が日本国内からはもちろん、世界中から日本を訪れる。そういった人をなくしては、東京大会の成功はないと確信している。
- ・オリンピック・パラリンピックに関連して、政府として「復興ありがとうホストタウン」による被災地の今の姿の発信や、「共生社会ホストタウン」によるパラリンピックのレガシーの創造など、大会後も息の長い取り組みを継続していくことが重要だと感じている。
- ・ホストタウンの皆様におかれては、これから東京大会までの期間を大いに活用し、これまで培ってきた

交流を一層深化させていただき、大会本番には地元の市民から選手に対して多くの声援が送られることを期待している。

- ・東京大会がラグビーワールドカップ以上に盛り上がり、レガシーになるように、自治体の皆さんの力をお借りいただくよう心からお願いを申し上げご挨拶とさせていただきます。

2. 議事

(1) ホストタウン自治体からの発表

(岩手県遠野市長より説明)

- ・「共生社会 違いを知る 違いを尊重する 違いと絆がる、子供たちから広めよう」というテーマをもって、共生社会ホストタウンを広めている。
- ・共生社会ホストタウン、共生社会の実現に向けた街づくりを推進するために、市内には（サッカーの）全国大会28回出場している伝統校の遠野高校があるため、サッカーを通じた共生社会に関する街づくりを進めていくことに決めた。
- ・そのようなサッカーを通じた街づくりを進めるなかで、相手国は「ブラジル」にしようという市民の声もあり、今年の7月にパラリンピック4連覇中のブラジルのブラインドサッカーチームが遠野市で事前合宿することができた。
- ・合宿中には、多くの（子供たちを含めた）市民の皆様が、選手の皆様と本当に心温まる交流をすることができた。まさに「共生社会 違いを知る 違いを尊重する 違いと絆がる」といったフレーズが市内随所で見られた。
- ・そのなかで、2019年8月に先導的共生社会ホストタウンとしての認定を受けた。ユニバーサルデザイン、心のバリアフリーに関する取り組みは非常に重要なことである。
- ・心のバリアフリーでは、障がい者と健常者の方が一緒になり、市街地の街歩き調査を実施し、市内小学生は、自ら自分たちの住んでいる街をバリアフリー化するために調査を実施している。
- ・共生社会において、いろんな文化があるなかで、心のバリアフリーを大切に街づくりを進めていきたい。

(福島県飯舘村長より説明)

- ・約12年前、「何不自由なく学校に通うことができるのが当たり前」と思っている子どもたちに、世界には校舎も黒板もなくとも目を輝かせて勉強している子どもたちがいるということを知ってもらいたくて、募金運動を始め、ラオスのドンニャイ村に中学校を建設することができた。その後もラオスと交流を続けてきた縁で、ラオスの復興ありがとうホストタウンとなった。
- ・本年9月、ラオスのパラ水泳選手団12名（うち選手7名）を迎えた。選手は村の中学校のプールで練習し、直後に横浜で行われたジャパンパラ水泳大会で、そのうち1名が銅メダルを獲得した。
- ・村の子どもたちには、「ふるさと学習」の中でラオスについて学んだり、ラオスの食事を作ったり、独自のグッズを製作したりしながら、ホストタウンへの理解を深めてもらっている。
- ・避難生活等大変なことが続いていた時にも、ラオスから励ましをもらった。「自国ファースト」「自分ファースト」という考えが世界に広がる中で、復興ありがとうホストタウンの取組を通じて、村の子どもたちには「やさしさには価値がある」「お互い様という気持ちを持つことが住みやすい社会や地域を作っていく」ということを学んでもらいたいと思っている。
- ・「東京オリンピック・パラリンピックよりも東日本大震災からの復興が先だ」という声もあるが、せっかくオリンピック・パラリンピックが来るのであれば、それを村の復興や子どもたちの教育に活か

していきたい。

(熊本県玉名市長より説明)

- ・アンゴラ共和国とは、玉名市出身である在アンゴラ共和国日本大使館の澤田特命全権大使大使からの話をきっかけとして、オリンピックにおける事前キャンプ地として受け入れをすることになった。
- ・本年7月、同国を訪問し、覚書の調印を行った。
- ・今月末から熊本県で始まる女子ハンドボール世界選手権大会にも、同国のハンドボールチームが参加予定となっていることから、澤田大使による地元の高校での講演会や、市民応援団を結成しての試合観戦・応援を予定している。
- ・オリンピック本番では、事前キャンプの受け入れに併せて、交流事業を実施することとしており、当市は小中学校でのハンドボールが盛んな地であることから、ハンドボールを通じての小中学生との交流や、地元のお祭りなど日本文化の体験、地元の実業団チームとの練習試合、市民応援団を結成しての応援などを予定している。
- ・現在、同国との交流の機運を市民にも浸透させるため、市民団体が中心となり、アンゴラ料理教室や、ポルトガル語教室なども開催され、徐々に機運を高めているところである。
- ・3年前の熊本地震では、震源に近い地域では大きな被害があり、現在も復興に力を注いでいるところである。
- ・東京大会は東日本大震災の被災地の復興を後押しし、被災地が復興を成し遂げつつある姿を世界に発信する「復興オリンピック・パラリンピック」と位置づけられている。当市としても、熊本地震からの「復興オリンピック」という位置づけで、事前キャンプを含めた様々な取組を行い、地方からも東京大会を盛り上げ、市民とともに多くの感動が得られる2020年にしたい。

(2) 最近の情勢について

(組織委員会より説明)

- ・日頃より、大会組織委員会の活動につきご理解を賜り、御礼申し上げます。
- ・まず、選手村ダイニングにおける食の発信について。大会時の飲食提供については、日本食文化の発信と国産食材の活用などを目指し、日本食や地域特産物を活用したメニューを提供する。
- ・具体的には、メインダイニングとカジュアルダイニングそれぞれ可能な限り国産食材を優先的に活用。特にカジュアルダイニングでは国産食材を使用したメニューを地域毎に、一定期間ずつ、ローテーションして提供するなどを検討。
- ・加えて、地域特産物発信の観点から、食材の産地表示についてはウェブサイトへの一括掲載等の方法を検討しており、このような体系的な食材産地表示を行おうとする取り組みは、本大会が初めてと認識している。大会の飲食提供を通じ、日本食や国産物の魅力を世界に向け発信したい。
- ・続いて、東京2020大会の観戦チケットについて。国・地域との相互交流や、地域活性化等を推進するため、ホストタウンの皆様競技観戦機会をご提供する。現在第2期の申し込みを受け付けているところだが、今回新たに抽選で希望のチケットを確保できなかった場合、「おまかせ割り当て」という仕組みを用意させていただいた。ご検討いただきたい。
- ・最後に、競技会場の変更に伴う対応について。皆様ご承知の通り、オリンピックのマラソン競技の会場が変更された。チケットについては現在対応を検討しているところであるが、いち早く皆様にご報告差し上げる。大会成功のためには、ホストタウン自治体の皆様との連携・協力が不可欠である。引き続き皆様からのご協力をお願い申し上げます。

(内閣官房より説明)

- ・ホストタウンは464自治体にまで広がっている。相手国・地域数も156と、出場国・地域数の75%を占めるに至っている。交流した選手からは、「まるで家に帰ってきたようだ」といったコメントが多数出ている。それだけみなさまがあたたかなおもてなしをなされている証拠だと思っている。
- ・台風の被害を受けたホストタウンも多いが、ここで紹介させていただいているような素敵なエピソードが生まれている。これもホストタウンの力だと感じている。
- ・競技終了後に選手がホストタウンを訪問する「事後交流型ホストタウン」について、今後、愛称を「ただいま・おかえりホストタウン」としてPRしていくことにした。より一層推進していく。
- ・ラグビーワールドカップでは大変な盛り上がりがあった。ホストタウンの各地でも相手国の方と交流したという報告を続々といただいている。その経験を来年にぜひとも活かしてほしいと考えている。
- ・復興ありがとうホストタウンは連絡協議会を釜石市、福島県Jヴィレッジで開催。ポケモンを大使に任命させていただくなど、活発に活動している。
- ・共生社会ホストタウンの登録数が非常に多くなっている。日本全国にパラリンピックの受け入れを通じた共生社会の実現に向けた取組が広がっている。
- ・次の大会開催地であるパリ、ロサンゼルスでホストタウンをPRするイベントを開催している。各地でホストタウンの素晴らしさを理解いただいている。
- ・TICAD7では、アフリカを相手国とするホストタウンが集結し、さまざまなサイドイベントを展開した。
- ・2020ホストタウン・ハウスでは、ホストタウンの活動をPRする絶好の機会となる。多くのホストタウンのみなさまに参加いただければと考えている。
- ・ホストタウンフレーム切手が続々と作成、販売されている。次々と作成される切手を私どもも楽しみにしている。

(国土交通省より説明)

- ・共生社会ホストタウンでは、パラリンピアンへの受入れに向け、公共交通機関等のバリアフリー化や、パラリンピアンへの移動や輸送について、競技団体等と協議や調整を進めていると存じている。
- ・そうした相談に対応できるよう、各地方ブロックにある地方運輸局交通政策部に相談窓口を設置したのでご紹介する。相談事があれば相談窓口にお問合せいただきたい。また、我々の方からも御用聞きに伺うこともあるかもしれないのでよろしくお願ひしたい。
- ・相談窓口の担当者が分かりやすくなるように作り変えてまたお示しする。

(質疑)

(宮城県白石市長意見)

- ・観戦チケットの件でお尋ねする。
- ・当市はベラルーシ共和国の新体操チームのホストタウンとして3年間、事前キャンプそして公開演技会を開催させていただいた。
- ・先程橋本大臣からは、来年新たなレガシーを作り上げるというご挨拶があったし、岡田副長官からは市民の声援をぜひ届けてほしいといったご挨拶もあった。
- ・ぜひともそれぞれのホストタウンにおきましては、公開演技会また事前キャンプを開催した、そうした実績で交流を重ねているホストタウンもございますので、そういった実情をぜひご理解をいただきながらチケットの確保に向けて色々のご配慮を賜りたいと存じます。よろしくお願ひしたい。

(組織委員会)

- ・ホストタウンの皆様に変な熱意を持って交流をいただいていることに感謝を申し上げるとともに、チケットにつきましては、皆様ご案内の通り、大変ありがたいご好評の状況であり、みなさまのホストタウンの国あるいは地域と競技が合致したチケットがうまく配券されているかについては、なかなか難しい状況があるということは認識している。
- ・またチケットの状況については、私どもから丁寧に情報を提供させていただき、色々ご要望を承ってまいりたいが、このことについては、予選そしてその後の競技の状況もあり、私共も苦しい状況というところを申し上げたい。私共も頑張る。

(京都府亀岡市長意見)

- ・選手村のダイニング、食の発信についてお聞かせいただきたい。
- ・亀岡市はオーストリアと空手でホストタウンとなっている。そして、私どもは京野菜の産地であるため、ぜひともこのダイニングに京野菜を使っていただきたいと思う。そういう場合はどのようにすればよいのか教えていただければありがたいと思う。

(組織委員会)

- ・食材については、内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局の方から意向調査をさせていただいており、その全体については組織委員会にも提供いただいているところである。選手に提供するメニューの中にどのように取り込んでいけるか、さきほど申し通り最大限活用させていただきたく、そして、そのような中でいろいろとご相談させていただけることについては、いろいろとお願いすることもある。

(事務局)

- ・後程、個別にご相談させていただければと思う。

3. 平田事務局長挨拶

- ・今日は本当にたくさんの方に第4回ホストタウン首長会議に参加いただき、感謝申し上げます。今日いただきました食材、チケットの件につきましては、しっかりと受け止め、遺漏のないように対応する。
- ・前回5ヶ月前に切手の話をしたが、現在、既に3件の切手がホストタウンから出ている。その中に、1シート10個のデザインができるが、全部相手国のデザインにしているところがある。5対5でもいいので、ぜひ地元のデザインも入れていいので、ぜひ創意工夫でやっていただきたい。
- ・橋本大臣にいろいろと相談し、今まで大会後ホストタウン、事後ホストタウンという元気のない名前になっていたが、「ただいま、おかえり」ホストタウンという名前ができたので、今後「ただいま、おかえり」ホストタウンとして盛り上げていく。
- ・それから、もう一つ、パラリンピックのホストタウンの件で、障害者の方をお迎えいただいて、一つでもなんとか町をバリアフリーにしなければならないということで、ご相談を国土交通省にしていたが、このたび運輸局にバリアフリー相談窓口、共生社会ホストタウン窓口、パラリンピックホストタウンの窓口ができた。プッシュ型ということで、運輸局の者が皆さんのところに伺うので、ぜひ、スポーツ部局と都市部局・建設部局は、どうしても市町村の中で連携がうまくいかないところがあるので、ぜひ市町村長の皆様にはスポーツ部局と都市部局をつなげていただくよう、ご指導をお願いしたい。
- ・2020年以降どうなるのかということについて橋本大臣の方から申し上げたが、今の時点で、たくさんの心強いエピソードがある。台風豪雨の被害により成田空港で行き場をなくしていたニカラグアの選

手を甘楽町の方が迎えに行ったなど、すでにレガシーとして特筆すべきエピソードが出てきている。私は以前日本サッカー協会の専務理事をしており、2002年サッカーワールドカップ以降のレガシーを担当していたが、2020年の前に皆さんの市町村ではレガシーがきちんと確立されていることに大変心強く思っている。

- ・今日は3件の発表があり、そのうちの2つがポルトガル語圏の国であり、私は3年間ブラジルに勤めていたので本当に懐かしい。最後にこれが終わったら大臣からそれぞれ皆様にご挨拶させていただくのでぜひよろしくお願ひしたい。